

「VG槻輪だより」  
発刊第百号

おめでとう

いよいよです。



原稿依頼を受け改めて  
今も手元にある第1号か  
ら18号までの「槻輪だよ  
り」懐かしく読み直した  
ところですよ。

私がVG槻輪に関わり  
をもたせていただいたの  
は、2004年度の「高  
槻まちづくり塾」に参加  
し、研修最終日になって  
志を持った受講者のメン  
バーがこのまま別れてい  
くのは何となく惜しいと  
思ったのははじまりでし  
た。そうした気持ちは現  
会長の大岡さんも同じで  
あったようでその場で声  
かけをしていただいたと  
ころ何名かの賛同者があ  
りこれが今日のVG槻輪  
の誕生につながっていつ  
たものと思います。

何事でもそうですが最  
初の組織づくりの段階で  
は大岡さんも相当ご苦労  
があったものと推察する  
一方で私自身分らない  
とはいえあまり協力出来  
なかつたことは今更なが  
ら反省する次第です。  
発足当初は先ずは高槻  
の街を知る必要があると

いうことから公共施設を  
はじめ、いろんな遺跡な  
どを見学することから始  
まり、高槻に生まれ育つ  
たわが身ながら高槻って  
こんな街やつたんやなあ  
ーと改めて認識し勉強さ  
せていただき今まで不勉  
強であった自分を恥ずか  
しく思ったことを思い出  
します。

また活動の一環として  
はパソコン研修なども取  
り入れられ私自身は苦手  
な部分を勉強させていた  
だいたことを非常に感謝  
しております。

その後私も少し忙しく  
なってきたことからやむ  
なく退会することとなり  
ました。が会の状況などは  
折に触れて耳に入ってきた  
ておりその活発な活動は  
当初に僅かでも関わった  
者として大変嬉しく思っ  
ておりました。

近年少子高齢化社会が  
さらに進み、また自然災  
害の多発によりわが国社  
会においてボランティア  
の重要性と位置づけは格  
段にあがってきており更  
なる充実が求められてお  
ります。

結びにあたって「VG槻  
輪」が高槻市のボランテ

イアグループの中核とな  
ってますます活躍される  
ことを願うと共に、大岡  
会長をはじめ会員の皆様  
の今後ますますのご活躍  
とご多幸を祈念して第1  
00号発刊のお祝いへの  
寄稿とさせていただきます  
す。

VG槻輪OB松井 昇

VG槻輪会報第百号発行  
おめでとういよいよです。

大岡会長様



はじめ会員の  
皆様のご努  
力の賜と心よ  
りおよろこ  
び申し上げます。

VG槻輪便りの「旅の思  
い出」・「味W A Y」と  
も新鮮な気持ちで読ませ  
ていただきました。

長い間北摂地区に住ん  
でいますが、知らないこ  
とばかりで衰えている右  
脳左脳を使って探訪させ  
ていただいたことを思い  
出しています。

高槻市原町の寒天工場  
見学では寒冷地で、寒風  
の中、夜を徹して寒天作  
りをされている様子を聞  
き、寒天を食べる時はそ  
のご苦労を思い出してい

ます。

VG槻輪のお陰でPCも  
勉強させていただき、メ  
ール、ブログ、ネット購  
入など出来る様になり、  
ブログ仲間とゴルフコン  
ペを開いたり、海外在住  
の方々にお料理を教えて  
いただいたり、充実した  
日々を過ごしています。  
一重にVG槻輪のご指導  
のおかげと感謝していま  
す。

次は二百号めざして会  
長様はじめ皆様のご活  
躍お祈り申し上げます。

VG槻輪OG 川瀬道子

「おらが街」

「VG槻輪だより」  
第百号発行

おめでとうございます。

旧石器時代から高槻に  
人々が生活していた遺跡  
がある事をご存じでしょ  
う。やがて城も築かれ廃  
藩置県（1871年・明  
治4年）になる迄、城主  
が守っていました。

この芥川山城と高槻城の  
跡地は大切に残されてい  
ます。又、由緒ある神  
社仏閣も沢山現存してい  
ます。西国街道の宿場と  
して栄えたこの街は、今  
JR東海道線と阪急京都



線の駅があり、東に行く  
にも西に行くにも便利  
です。こんな良い街を  
全国の人達に知ってほ  
しい。私達住  
民はよき案内人になら  
うではありませんか。市  
街地の開発も道路の整  
備も大変重要な事です。  
然し原点に戻って伝統  
ある街の面影が消えな  
い様に、熱い気持ちを持  
って、後世に伝えて行  
こうではありませんか。

私事ですが、キリスト  
の復活に因んで、愛を  
モットー？に音楽療法  
のセラピストを続けて  
います。顔のシワは年  
輪、しかも名木の古木  
です。心のシワはつく  
らないで置こうと思っ  
ています。ますますの  
「VG槻輪」のご活躍  
を願っています。

VG槻輪OG山本矩子

「VG槻輪」の  
会結成時を振り返る

①会結成の動機  
平成16年8月24日  
から5回にわたり「高  
槻まちづくり塾」の講  
義を受けましたが、参  
加の動機は各人違いま  
すが、塾を未

消化のまま終わつたよ  
うに感じた者が集まり  
、何らかの活動を始め  
ようかと「OB会結成  
準備」を持つと話し合  
った記憶があります。

②会結成準備会は、11  
月18日と決め、集ま  
ったのが7名でした。

③会議では、事業目的  
、会の名前、会則、当  
面の活動（会報の発行  
、行事として「わがま  
ち紹介」など）、全員  
が初めてのボランティア  
活動のため、サポート  
センターのアドバイス  
を受け、生みの親はコ  
ミュニティ推進室で、  
育ての親はサポートセ  
ンターとよく言ってい  
ます。

④最初の活動が、12  
月16日に松井昇氏が  
説明資料を準備し説明  
してくれた野見町・城  
内町周辺で、自分のま  
ちを知らないことを痛  
感した思いがいまも鮮  
明です。VG槻輪会長  
大岡成一

お知らせ

【VG槻輪だより】は  
高槻市立中央図書館  
で、いつでも全号を  
ご覧いただけます。